

ロボット介護機器 導入施設

新宿けやき園

【施設概要】

運営法人: 社会福祉法人 邦友会

住所: 東京都新宿区百人町4-5-1

対象: 身体障害者

定員: 施設入所支援 10名

生活介護 20名

短期入所 2名



1 導入機器

分類	製品名	台数	導入の理由
移乗介護	ROBOHELPER SASUKE	1台	当施設では、主として身体障害者を受け入れており、移譲介助時の支援員の腰痛及び利用者の疼痛又は外傷が課題となっていた。 また、利用者の高齢化により、移譲介助時等における介助量の増加も課題となっている。 そこで、移譲支援時の利用者負担及び支援員の負担軽減を目的として、本機器を導入することとした。

2 実施体制

- ・ プロジェクトチームを設置
- ・ 顧問：作業療法士
- ・ リーダー：作業療法士
- ・ メンバー：作業療法士、支援員リーダー、支援員

3 課題整理

- ・ 業務中に腰痛を訴える職員が多く、受診へと繋がっている
- ・ 入所利用者の高齢化に伴い介助量が増加
- ・ 職員が業務を手早くこなさなければいけないという意識を持っており、1人で移乗等を行うケースも全体の4割存在

4 導入効果

- ・ 腰痛だけでなく、足や背中、腕の負担も軽減されていることに加え、精神的負担も軽減された
- ・ 利用者側も抱えられる痛みが軽減されている。
- ・ 利用者が使用を楽しみにしている。
- ・ 移乗時の揺れがほぼ起きず、恐怖心が少ないので利用者は安心し、表情も明るくなった

5 課題と解決策

- ・ 利用者の車椅子は個別に形状が異なるため、専用シートが入らず、対象者が限定されたが、メーカー開発部隊から椅子の差し込み方の代替案が提示され、かつ新サイズのシートの試作品により対象者が広がった。
- ・ 準備等に時間がかかるが、利用者負担の軽減され、腰痛等の防止等のメリットを教育した